



かけはし



地域医療連携室部長
副院長 柴 信行

★ごあいさつ

栃木県県北地域の医療機関の皆様におかれましては、平素より当院の地域連携業務にご協力をいただき、誠にありがとうございます。平成27年7月より地域連携室部長を拝命しました。当院は、県北地域に根差し、患者さんを中心とした専門性と質の高い医療を目指しております。地域連携室は、近隣の病院や診療所・介護施設などからご紹介頂いた患者様が、安心して受診するための病院の顔ともいえるべき重要な責務を担っております。日夜進歩する医療の専門性を生かしながら、高齢化の進行する地域の特性を十分に配慮したチーム医療を提供していく所存です。患者様の健康・福祉に貢献し、地域の先生方の期待と信頼に応え、頼れる地域連携室を作って参ります。何卒ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

★地域医療連携室・医療相談室一同



事務・MSW・MSW・事務・事務・事務
MSW・MSW・柴医師・橋本医師・事務

地域医療連携室では医療機関から紹介患者様の受入や報告書などの文書管理を行い、医療相談室では医療ソーシャルワーカーが退院支援を中心に各種対応をしております。患者様ひとり一人に最適な医療サービスができるよう、私たちは地域と病院の橋渡しをし「顔の見える連携」を心がけて参ります。

この度の連携通信を発刊するにあたりまして、改めて私たちの役割を持ち院内外をつなぐかけはしになれるように努めて参ります。何卒ご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

地域医療連携室室長代理 吉成 和子



地域医療連携室 月曜日～土曜日 9:00～17:00
TEL0287-38-2786 (直通) Fax0287-38-2787
医療相談室 月曜日～土曜日 9:00～17:30
TEL0287-38-2786 (直通) Fax0287-38-2787

医療法人 小沼内科胃腸科クリニック

患者さんに優しい医療は、診療所と病院がお互いの役割を認識をして連携をすることが大切。



インタビュー

「かけはし」では、地域の先生方にインタビューをさせていただき地域医療に関わるお話やお知らせをお届けしたいと思います。

今回は栃木県医師会の常任理事で近隣で開業の小沼先生にお願いしました。



小沼 一郎 院長

- ・那須都市医師会副会長
- ・栃木県医師会常任理事
- ・順天堂大学消化器内科講師
- ・獨協医科大学臨床教授



当院との医療連携について期待されていることはどのような事ですか？

診療所と国際医療福祉大学病院それぞれの役割を認識してそれぞれが役割を果たすことが大切だと思います。それにつきますのですが、診療所は手におえない患者さんを紹介し、病院からは落ち着いた患者さんを逆紹介で返すことが、連携の基本だと思います。

診療所と病院がお互いに患者さんへ優しく対応する医療が病診連携の基本になります。

患者さんのために、紹介、逆紹介をすること、患者さん中心に考えるということが、地域連携、病診連携の基本だと思います。



ご自分のクリニックで力を入れていることを教えてください。

当院の専門は消化器内科なので、早期の胃がん、早期の大腸がんを発見することが、一番の仕事です。それプラス専門性を持ちながら何の病気でもとりあえず診るようにしています。かかりつけ医イコール総合診療医になると思っています。我々は、この病気に関してはどこのどの先生が一番良いのかを認識しているので、それに基づきご紹介させていただいています。



ご自分のストレス解消法を教えてください。

水泳、ゴルフ、読書、絵画鑑賞、旅行です。年1回は海外旅行に出かけ、できればヨーロッパを制覇しようと思っています。

各国それぞれに良いが、スペインやイタリアは食事が良く、スイスは自然が素晴らしい。もう一回行きたい場所は、スペインはマドリードバルセロナ。イタリアはフレンツェ、ミラノ、フランスではパリですね。

夫婦二人で旅行に行くことがストレス解消法です。



最後に地域の方々、患者さんへ一言お願いします。

ご自分のかかりつけ医をもって、何か具合が悪くなったらまずはその先生に相談をする。その先生から紹介してもらって病院にかかるシステムをつくると患者さんも便利だと思いますので、是非なんでも相談できる先生をもってください。

【基本情報】



院 長 小沼 一郎

診療科目 内科、消内、小児科

住 所 那須塩原市西朝日町6-42

休診日 日・祝日・水、土曜日午後

電 話 0287-37-5353

2015/11/6

国際医療福祉大学病院

発刊：地域医療連携室